

## 授業科目

## 看護管理学

担当教員名 長谷川 隆雄、佐藤 嗣道（非常勤、薬害講義）	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

## 授業の概要

効果的かつ効率的に看護を提供できる体制や過程を整え、組織の成果を高める活動が行えるよう、その知識と技法を体系的に学びます。さらに、自分の強みを知り、それをベースにした知識とスキルを身につけ、自己の優れた能力を発揮しながら仕事の重要性を認識して、仕事を継続していく背景についても探求していきます。また、質の高い看護の提供のために不可欠となる医療安全について、組織と個人の両面から学習を深め、医療事故予防の対策を学びます。

## 授業の目的

看護の対象者に看護サービスを提供するためには、チームや複数の人による協働で実施される。

1. その仕組みについて学び、適切な看護サービスの提供の在り方を探究する。
2. 看護マネジメントに必要な基礎的知識と技法を理解する。
3. 医療安全・医療事故予防に関する基礎的知識を学び、組織と個人の立場から事故予防の対策を理解する。

## 学習目標

1. 看護管理の歴史を理解する。
2. 看護提供システムの種類と特徴を説明する。
3. 多職種との協働と看護職の機能を説明する。
4. 看護部の組織化について説明する。
5. 看護師のキャリア開発の概要を説明する。
6. 看護管理に関係する法規名を列挙し、概要を述べる。
7. リーダーシップとは何かを述べる。
8. リーダーシップの理論を2つ以上概説する。
9. 保健医療福祉におけるコーディネイトの必要性について述べる。
10. 医療安全に関する用語を定義を説明する。
11. 医療事故に伴う看護職の法的責任を説明する。
12. 看護職が関与しやすい医療事故の項目を5つ列挙する。
13. ヒューマンエラー対策を説明する。
14. 医療機関における医療安全対策の体制を説明する。
15. 危険の種類別に安全対策を説明する。
16. 医療事故の事故分析を通し医療安全の重要性を理解する。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	科目ガイダンス 看護管理学概説	講義	
2	看護ケアのマネジメント	講義	
3	看護サービスのマネジメント（1）	講義	
4	看護サービスのマネジメント（2）	講義	
5	看護を取り巻く諸制度	講義	
6	マネジメントの知識と技術（1）	講義	
7	マネジメントの知識と技術（2）	講義・演習（GW）	
8	医療安全概説	講義	
9	薬と医療安全(薬害について)	講義	佐藤 嗣道
10	ヒューマンエラーと対策	講義	
11	組織として安全対策	講義	
12	危機の種類による安全対策	講義	
13	事例分析	演習（GW）	
14	事例分析	演習(発表)	

15	まとめ	講義	
----	-----	----	--

### 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
<b>教科書</b>						
<b>参考書</b>	系統看護学講座統合分野 看護の統合と実践(1) 看護管理(第9版)	上泉和子 他	医学書院	2013年	2,500円+税	
	新体系看護学全書 統合と実践 看護実践マネジメント/医療安全	佐藤工キ子 編集 他	メヂカルフレンド	2013年	2,300円+税	
	系統看護学講座統合分野 看護の統合と実践(2) 医療安全	川村治子	医学書院	2014年	2,200円+税	
<b>その他の資料</b>	配布資料にて行う					

### 評価方法

講義に基づく課題レポート 30%

学科試験 70%

### 履修上の留意点

看護職として働く上で必要なマネジメントについて具体的に学習を進めていきます。私たちが生き活きと働ける職場作りを考えるとともに、成果が見えるチーム医療の実践を目指して学びを深めていきましょう。

また、安全を確保した医療を提供するための方策の基本的事項を学習していきます。問題意識を持って授業に参加してほしい。

### オフィスアワー・連絡先

授業時に確認すること